

#36 最旬リノベーション事情①

# 「しかたなく改修、から」 「ポジティブ・リノベ、へ。」



壁や床の傷が目立ってきたり、浴室やキッチン設備に古さを感じるようになったり…。

暮らしのキャリアを重ねるとともに、住み慣れたわが家にもメンテナンスが必要になるものです。

そして住まいの性能や機能は年々進歩しており、ここ10年でも住まいがもたらす快適さはずいぶん違ってきているのも事実です。

リフォーム・リノベーションと言えば、以前は老朽化した住まいを「しかたなく改修する。」といったケースが主流でしたが、

近年は今よりもっと暮らしの心地よさ・楽しさを高める「ポジティブ・リノベ。」を行なう家族が増えてきています。

そこで今号と次号の2回にわたって、積水ハウス・住生活研究所の研究ノウハウをベースに最旬リノベ情報をお届けします。

## 自分たちらしく、 今も将来も快適に。

古くなったし、傷みも気になるから何とかしなくっちゃ…。キッチンや浴室、洗面化粧台といった水まわり設備を一新するだけでも、暮らしの快適さや便利さは大きく違ってきます。

そんな設備一新がリノベを考え始めるきっかけになったという方は多いのですが、同時に「自分たちらしい暮らし方」に目を向けてリノベ実施を決定されるケースも少なくありません。

たとえば「キッチン設備だけを新しくするつもりだったけれど、以前と食事の仕方が違ってきているからクロードスタイルをオープンキッチンにリノベしよう」「浴室・洗面を入れ替えるなら、同時に家事動線を見直せばもっと自分たちの暮らし方にマッチするかも」など、単なる設備更新から理想の暮らし方へとイメージを膨らませる家族



### ■空室となる子ども部屋をさまざまにリノベ活用



趣味を本格的に楽しむなら独立スペースが理想。専念しやすく趣味仲間も気軽に招待。



間取りを変更して子ども部屋をリビングに取り込めば、憧れのホームシアターも実現可能。



在宅ワークの機会が増えれば、わが家で仕事に集中できるスペースが必要になることも。

## ポジティブ・リノベの ベストタイミングは?

では、実際にリノベを行なう場合、ベストなタイミングというのはあるのでしょうか。水まわり設備の入れ替え時期で言えば新

が増えてきています。実際にリノベを考え始める時期は新築時から年数を経ていて、暮らし方も変化しています。さらに将来の家族像や生活シーンもイメージしやすくなっているので、わが家の理想のカたちもはっきりと描けると言えるでしょう。

大規模なリノベをするなら住み替えを検討するという選択肢もあります。ただ「住み慣れた住まいで、今も将来も自分たちらしく快適に暮らす」というリノベが、わが家の理想像実現への早道なのではないでしょうか。

築から15〜25年程度を経た頃が多いようすが使い方や暮らしの考え方によっても違ってきます。

ただ設備機器の進歩は目まぐるしく、わずか5年でも快適さや便利さは格段に向上しています。どうしようもなくなるまで我慢するより、少し早めにリフレッシュして最新機能で暮らし心地を高めるほうが得策という考え方もあります。

また、その頃には壁クロスや傷みや汚れが目立つようになっており、同時にインテリアのイメージチェンジを行なうのも良いでしょう。

そして、もうひとつ大きなタイミングがライフステージの変化時期です。子どもの進学や独立など、家族の暮らし方が大きく変わる機会に合わせてリノベを検討するのがおすすめです。

特に子どもが独立する場合は、空室となる子ども部屋を有効活用しやすくなるのが

## 健康、快適・便利、私らしさ。 最旬テーマは大きく3つ。

わが家をどんな風に変えて、どのような暮らしを楽しもうか。リノベの計画は家族の夢や暮らしの憧れを最大限に広げることから始まります。

ポイント。間取りを変更してリビング・ダイニングを広くしたり、本格的に趣味を楽しむホビールームやアトリエ、在宅ワークの仕事部屋に用途変更するなど、理想の暮らし方を実現する絶好の機会にもなります。どのタイミングでもリノベで大切なのは、早めに検討をスタートすることです。時間に余裕があったほうがプランニング自体がじっくりと練れますし、実際の工事期間も都合に合わせて設定しやすくなります。実はこの余裕の確保こそ、リノベ成功のカギを握っているのです。

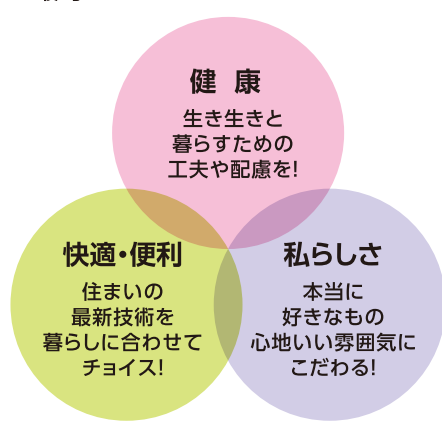


それには今の暮らしだけでなく、将来のことをしっかりとイメージしておくことが肝心です。そこで、これからのリノベで注目したい最新テーマを3つご紹介しましょう。まず1つ目は「健康」。住まいは生活の舞台ですから、いつまでも生き生きと暮らすための工夫や配慮が欠かせません。そして2つ目のテーマは「快適・便利」。これは住まいの進歩を最も感じられる部分かもしれません。知らないうちに住まいはこんなに快適・便利に暮らせるようになっていたんだ、リノベして良かった、という実感につながります。

3つ目は「私らしさ」です。これまでの生活キャリアから、自分たちが好きなものや心地いい雰囲気も十分に分かっているはずですよ。それを存分に発揮して、こだわりのリノベを計画してはいかがでしょうか。毎日の暮らしのシーンが見違えて気分も高まる、ついお客様をお招きしたくなる…、そんなリノベを目指しませんか。

それでは3つのテーマそれぞれについて、具体的なリノベのポイントをお伝えします。まず今号では「健康」をピックアップし、次号

### ■最新リノベ3つのテーマ

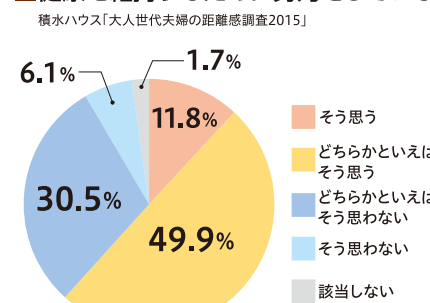


で「快適・便利」「私らしさ」を取り上げます。

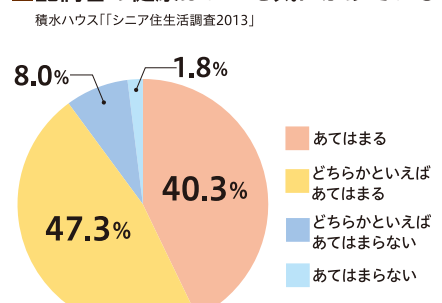
### 特に近ごろ関心の高い「健康リノベ」。

いつまでも生き生きと自分らしく暮らしたい、健康で安心な毎日を送りたい…。そんな思いは誰もが心の中に持つ願いです。人生100年時代と言われる現代、人生をより豊かに積み重ねていくために健康な暮らしを意識している方も多いのではないでし

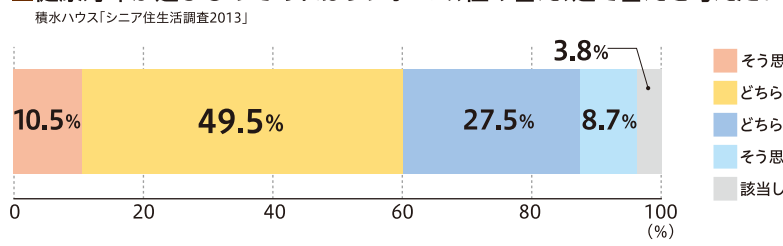
### ■健康を維持するために努力をしている



### ■配偶者の健康はいつも気にかけている



### ■健康寿命が延びるのであればリフォーム、住み替え、建て替えを考えたい



### ■健康リノベのポイント



特に大人世代の意識は高く、アンケート調査でも「健康を維持するための努力をしている」人は60%以上。また、一緒に人生を謳歌していくパートナーの健康についても大切にしている人が多いのも特徴です。そして、「住まいと健康」への関心も高く、「健康寿命が伸びるのであれば、リフォーム、住み替え、建て替えを考えたい」という人が60%にも上ります。

実際に健康的な生活を実現するには、暮

ようか。

らしの環境(住まい)が大きく影響するものです。日々心地よく過ごせる健やかな環境が整ってこそ、生き生きと自分らしい暮らしが叶えられると言えるでしょう。寒さ暑さがこたえるようになったり、ちよつとした動作が負担に感じるようになったり…。そんな悩みや不具合を解消し、いつまでも暮らしやすい住まいのリノベを考えてみましょう。

### 寒さを感じやすくなったなら断熱性アップが有効。

寒さがこたえるようになった、エアコンが効きにくい…。そんな思いを感じたら住まいの断熱性に目を向けましょう。特にマンションでは、室内の熱の最大の逃げ道となる窓がリノベポイント。内窓サッシを採用して二重窓にすれば、従来の窓との間に空気層が生まれて外気温の影響を緩和することができます。窓ガラスの性能も進化してい



足元から心地よく暖められる床暖房がおすすめ。(写真は床暖房パネルの施工イメージ)

て、冬の寒さを防ぎながら夏の日射熱を抑えることも可能。1年を通して穏やかな室内を保ちやすくなり、身体への負担が軽減できます。

また、寒さ対策としてぜひおすすめしたいのが床暖房の採用です。冷えを感じやすい足元がぽかぽかと暖かく、室内の上下の温度差の少ない快適な空間が作り出せます。リビングはもちろん、寝室に採用してもエアコンの風などの不快感がなく、心地よく暖かさが保てます。

### 毎日の健やかさのための空気環境も要チェック。

人が生涯で最も多く身体に取り込むのが空気。なかでも室内空気がその半分以上を占めていると言われています。住まいの中の空気を健やかに保つことも健康な暮らしの重要なポイントです。



化学物質の吸着や調湿効果のある塗り壁も有効。

### 身体の変化を支えるユニバーサルデザイン。

将来の暮らしを見越したリノベでは、自分たちの身体の変化を考えておくことも大切です。今はまったく気にならない段差が、つまずきの原因になったり、ちよつとし

ーンな空気環境の確保。特に床や壁のリフレッシュでは建材などから発生する化学物質に注意が必要ですが、積水ハウスでは建築基準法よりも厳しい独自基準をクリアした「エアキス仕様の建材」を提案しています。



靴の脱ぎ履きも安心な玄関ベンチ。身体を支えやすさと美しさを両立したトイレ手すり。



靴の脱ぎ履きも安心な玄関ベンチ。

### 新しい家族=ペットのためのリノベ

子どもの独立とは逆に、わが家に新しい家族=ペットが加われば、彼・彼女たちのための居心地も考えたいものです。ワンコには落ち着ける居場所づくりや足腰の負担軽減を考えた床材、ニャンコには上下運動のしやすい仕掛けや爪とぎに強い壁クロスなどがおすすめです。



### わが家で気軽にヘルスケア

リビングを少し広げてヨガマットスペースを確保したり、壁にエクササイズバーを設けたり。自宅で気軽にフィットネスできる環境を整えるリノベもおすすめです。ちよつとした空き時間を活かせるので、身体メンテのハードルも低くなって日課として取り組みやすくなります。



今号はこれからのリノベで着目したい最新テーマの1つ「健康」についてお伝えしました。次号では「快適・便利」「私らしさ」についてご紹介しますので、期待ください。

た手すりや安全・安心につながったり…。積水ハウスは30年以上にわたって住まいと加齢に関する研究に取り組んでおり、独自に開発した「スマートユニバーサルデザイン」のアイテムを積極的に提案しています。

今も将来も生き生きと暮らしやすく、日々安心して過ごせる住まいにグレードアップするリノベをぜひ考えましょう。

\*